

## 関係機関一丸となった高病原性鳥インフルエンザ防

疫計画の見直し：岡山県井笠家保 萱原佳美、横内淳

一郎

令和4年、管内3農場で連続発生した高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）では初動が混乱し、多様な課題を残す。既存の防疫計画（計画）が点的思考で作成されていることが一因。そこで計画を多角的思考で見直すため、令和5年、備中県民局農畜産物生産課が中心となり各部所の幹部で構成する「HPAI発生対応総合計画策定会議（策定会議）」を設置、「HPAI発生対応総合計画」を策定。これまでに23/41農場の計画の見直しを実施。令和7年度は、半径3km内に密集かつ敷地面積狭隘等、防疫措置の難航が予測される16農場の計画について策定会議の他、市及び農場所有者と共に見直しを実施。併せて、現地対策本部員のための初動アクションロードマップ「初動対応活動の概要」を作成、これを計画の一部と位置付け、初動の動きを整理。策定会議は、より実践的な計画に寄与。今後は策定会議への農場参加を必須とするなどより農場主体の計画立案を目指す。